

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 26-151
補助事業名 平成26年度 二輪車に係る国際標準化推進 補助事業
補助事業者名 公益社団法人 自動車技術会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ISO/TC22/SC22及びSC23国際会議において、我が国の標準化方針を反映させるべく専門委員の派遣を行い、現在進めている「モード走行時の総走行抵抗検査法」、「燃料蒸発ガス試験法（エバポ測定法）」及び「二輪機能安全」に関するISO規格の推進を図る。

(2) 実施内容

①SC22/WG17及びSC23/WG1（排ガスとエネルギー）における国際標準化事業

- ・モータサイクル&モペットに関する国際標準化会議に出席し、SC22（モータサイクル）/WG17（排ガスとエネルギー）、SC23（モペット）/WG1（排ガスとエネルギー）の議長国として主導的に会議運営を行った。本WGは、モータサイクル&モペットの排出ガスの規制に関わる試験方法の規格開発を担当、その国内審議委員会として本会二輪エンジン・エネルギー分科会が活動を行った。



キャプション: ISO会議風景（5月イタリア）



キャプション: ISO会議風景（5月イタリア）

②SC22/TF（機能安全）における国際標準化事業

- ・二輪自動車に搭載される電気・電子システムの機能不全時の安全確保に関する要求事項をまとめたISO文書としてPAS(Publicly Available Specification)の制定を目指した。日本はこれを担当するSC22/TF（Task Force）の議長国として会議運営を行った。このPASは、四輪自動車向けに既に制定されているISO 26262の次期改定時に、二輪特有の要件を盛り込む際の参照文書となる。

- ・国内の体制としては自動車技術会のみならず日本自動車工業会の作業グループと常に協調し、2014年度は毎月1回のペースで分科会を開催し、PASの原案作成、審議を進めた。



キャプション: ISO会議風景 (4月イタリア)



キャプション: ISO会議風景 (10月オーストリア)

2 予想される事業実施効果

二輪車の国際標準化において幹事国として標準化活動をリードすることで、日本の技術力を反映した規格作りを行うのみならず、環境保全、安全性確保の点においても世界をリードし、自動車産業立国として、日本の技術的優位性を維持し、社会的責任を果たすことが出来る。

3 補助事業に係る成果物

(1) [補助事業により作成したもの](#)

- ・ [005_SC27WG3国際会議出席報告書](#)
- ・ [008_TC22_SC22_WG17 出席報告書](#)
- ・ [032_SC38WG3国際会議出席報告書](#)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人自動車技術会 (コウエキシャダシホウジソツドウシャギジユツカイ)

住所： 〒102-0076 東京都千代田区五番町10-2

代表者： 会長 加藤 光久 (カトウ ミツヒサ)

担当部署： 規格 (自動車) 課 (キカク (ジドウシャ) カ)

担当者名： 築山 彩子 (ツキヤマ アヤコ)

電話番号： 03-3262-8216

F A X : 03-3261-2204

E-mail : kikaku@jsae.or.jp

URL : <http://www.jsae.or.jp/>

